

サツマイモを生産されている組合員の皆様へ

かとり農業協同組合

営農生活課

サツマイモ^{もとぐされびょう}基腐病の発生に注意

平成30年から発生している『サツマイモ基腐病』が、今現在九州地方で甚大な被害が発生しています。鹿児島県では、サツマイモの栽培面積の約5割の圃場で発生し、生産量も約3割の減収が確認されています。また、12月10日に四国地方で初めて基腐病の発生が高知県で確認され、12月23日には東日本で初めて静岡県で基腐病の発生が確認されました。

当農協管内で、もし発生してしまった場合は産地として甚大な被害となる可能性があります。育苗管理や圃場の生育状況を確認し、発生させないための対策を徹底してください。

現段階で有効と考えられる対策

- ・ 苗の消毒（ベンレート水和剤、ベンレートT水和剤20）の徹底
消毒液は使用日ごとに新たなものを使う
- ・ 土壌消毒（ドロクロール、バスアミド微粒剤）の徹底
- ・ 排水対策を十分に行う（排水不良は病害の感染・拡大を助長する）
- ・ 苗床や本圃で発生を確認した場合は速やかに抜取り、圃場外に持ち出す
- ・ 健全苗の確保
ウイルスフリー苗の使用
種芋による育苗の場合、腐敗・病気・傷のない健全な芋を使用する。
※他産地の種芋や苗を導入しない。



※写真1 発生圃場における地上部の枯死症状



※図4 腐敗塊根（品種：べにはるか）なり首側からの腐敗

【症状】

地際の茎が黒褐色へと変色し、黒変した部分には多数の柄子殻が形成されている。

地上部に萎凋症状が見られ症状が進むと枯死する。枯死した株は、芋のなり首から腐敗する。

【病原菌】 ホモプシス族糸状菌の一種

【伝染】 苗伝染、種芋からの伝染、土壌伝染（植物残さで越冬）

【防除】

発病が認められた場合、つるごと株を直ぐに抜き取り圃場外へ持ち出す。併せて、2次感染を防ぐため発病株の除去前後に Z ボルドー又はジーファイン水和剤を散布し、周辺株への感染を予防する。

農薬名	使用時期	希釈倍数	10a 当り散布液量
ベンレート水和剤	苗消毒（30 分間苗基部浸漬）	500～1000 倍	—
ベンレート T 水和剤		200 倍	—
Z ボルドー	圃場散布（予防効果のみ）	500 倍	100～300 ℓ
ジーファイン水和剤		1000 倍	200～300 ℓ

「基腐病」は、「つる割れ病」と同じ糸状菌による土壌伝染性病害であるので、基本的にはつる割れ病と同じ防除対策を行ってください！

※本資料及び写真1は、「砂糖類・でん粉情報 2019.10 月号」に掲載されている「サツマイモに甚大な被害を与える侵入病害「基腐病」の超高感度・簡易・迅速診断」から引用して作成しています。

※図4は、静岡県病害虫防除所が12月23日に発表した「令和2年度発生予察情報特殊報第4号 サツマイモ基腐病」から引用。